

寺岡中

生徒主体 できること実行



これがイチオン

寺岡山 頂上にはタワー

寺岡中は自然に囲まれた学校です。春には満開の桜が新学期のスタートを後押ししてくれます。

「寺岡山の朝ぼらけ あふれる緑陽に映えて」と、校歌にもある寺岡山は緑に包まれた小高い丘陵です。季節ごとにさまざまな景色で楽しませてくれます。仙台市の中学校駅伝大会のコースにもなっており、3年前までは市内の中学生が熱戦を繰り広げてきました。頂上にはシンボルのとんがりタワーが立っています。私たちはそんな豊かな自然の中で生活しています。

学校名 仙台市立寺岡中学校
所在地 仙台市泉区寺岡2の13の1
創立 1983年
電話 022(378)0931
校長 佐々木 宏
生徒 393人

寺岡中学校の第40次生徒会スローガンは「Initi-ity」(インフィニティ、無限)です。先輩方から受け継いだ伝統と絆を大切に「生徒が主体となって活躍できる学校を目指そう」「みんなで見えを出し合えば可能性は無限大」という思いが込められています。

目安箱「ぶんちゃん」も校内に設置しました。集まった生徒の意見や考えを反映させながら、より良い学校生活が送れるよう工夫しています。昨年度の寺中祭(文化祭)はリモート開催でしたが、有志発表を盛り上げる寸劇は好評でした。運動会では有志を募ってダンスをするなど、学校行事では、主体的に活躍できるよう生徒が企画・運営に携わりました。



校庭から望む虹(にじ)。大空のように、私たちは可能性を無限に広げて活動していきます

編集委員 石山皇成、我妻咲南(2年)
指導教員 庄子怜(転任) 佐藤祐介

目安箱で意見出し合う

わが校わがまち スクール通信



今回は 鹿又小(石巻市) 日吉台中(富谷市)

学習発表会で太鼓の演奏を披露する5、6年生たち

太鼓演奏の伝統引き継ぐ

私たちの学校に「敷玉小学校ばやし(石神)」という新しい伝統があります。2015年に始まった太鼓の演奏です。昨年度は5、6年生39人が竹太鼓、大太鼓、中太鼓の三つのパートに分かれ、協力しながら楽しく演奏しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、大きなかけ声は出せませんでしたが、その分太鼓をたたく活動に力を入れました。

懸命教えました。たたき方の見本となる動画を撮影したり、楽譜にポイントを書き込んだりして、4年生が練習しやすいように工夫しました。これまでは正確にたたくことを重視していましたが、昨年度は自由に動きながらたたく場面が増えました。動きは自分たちで考えました。学習発表会での演奏は緊張しましたが、5年生と協力して頑張りました。昨年度はキャラクターも作りました。この新しい敷玉小の伝統が続いてほしいです。



編集委員 浅野優生、及川晴駆、藤元隆輝(3月卒業、中学1年)
指導教員 渡辺李歩

敷玉小

たたき方を動画で撮影



これがイチオン

自然いっぱいの「緑林」

敷玉小には「緑林」という学校林があります。低学年は春に生活科で虫や花を見つけ、中・高学年は理科で植物を観察します。休み時間に散歩や木の実探しを楽しむ人もいます。ごくたまに、野生のタヌキやハクビシン、ハチとも出合う自然いっぱいの場所です。

緑林で丸太ジャンケンをしたことが私たちの思い出です。丸太の両端から並んで歩き、ジャンケンをして勝ったら進める遊びです。緑林がこれからも、みんなが楽しく学んだり遊んだりできる場所であってほしいです。

学校名 大崎市立敷玉小学校
所在地 大崎市古川石森石神10の1
創立 1873年
電話 0229(23)3966
校長 佐藤 伸
児童 126人